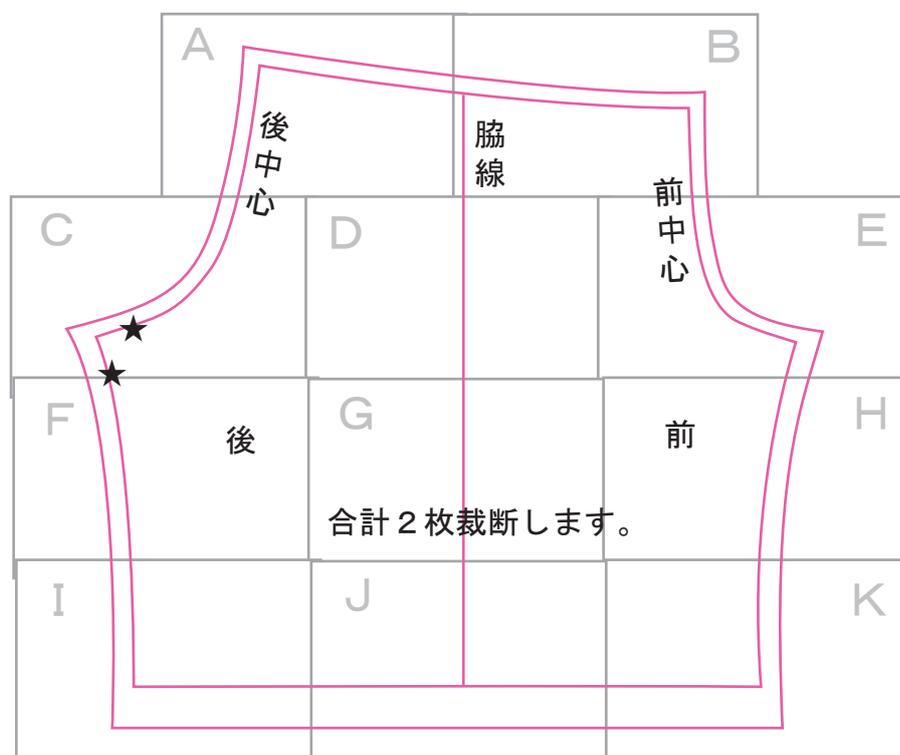


パターンをダウンロードし、貼り合わせます



M・Lともに11枚です。

前後が脇線につながっていて、合計2枚裁断します。

裏地のパンツの丈は、スイートパンツのパターンに合わせて、4cm 短い設定です。

股下に0.5cm の「きせ」があります。(きせについての説明は後ほど登場します)

用尺は、基本の丈でMLとも各1.5m です。縫い代を含んだ丈の2倍必要になりますので、着丈を伸ばす場合はこれを参考に計算してください。

注意：後股下側および股ぐりは、表地のパターンとはラインが異なります。(★マークのところです) 表地は、おしりの丸みを出すために、股下の縫い合わせに前後で寸法の差を出しましたが、裏地の場合はそこまでの操作が必要ないのと、生地が伸びないため、前後同寸にしてあります。

パンツ丈を伸ばす場合、裏地は表地と同じ寸法だけ伸ばしてください。

裏地を裁断します

裏地の裁断については、「一般的なウールの取り扱いと裏地の話」を参考に進めてください。

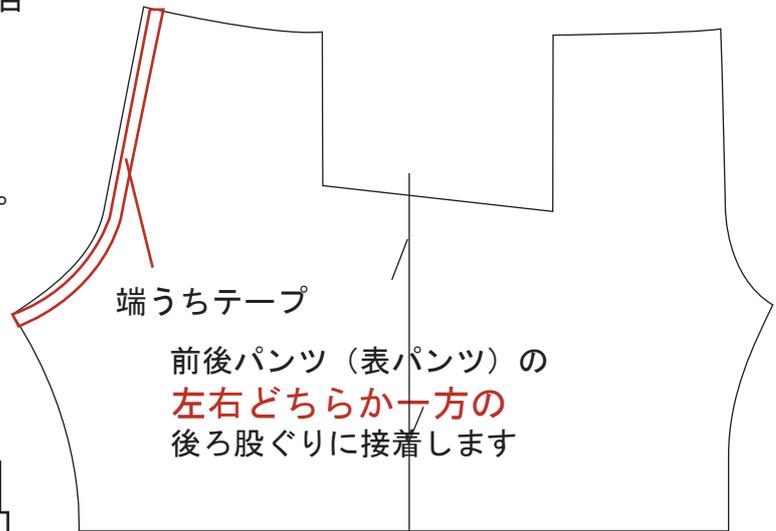
表地にウール素材を使う場合について

ウールなどの伸びやすい素材の場合
絶対に伸ばしたくない場所に
「端うちテープ」を使用します。
端うちテープは、不織布や織物、
素材や仕様等はさまざまですが、
どれもそんなに変わりありません。
また、通常の伸び止めテープでも
代用できます。

端うちテープはこのようなものです



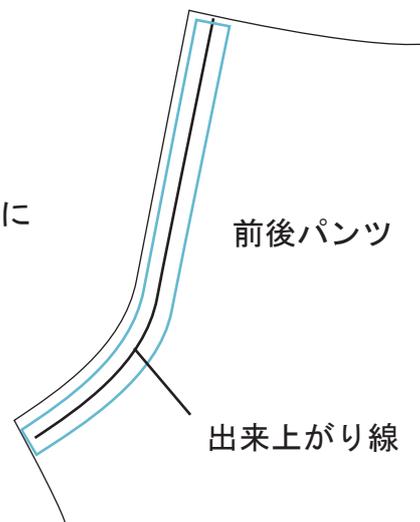
パンツの出来上がり線がこの巾の間に入るように接着します。



細長いテープの上に、更に半分程度の巾のテープが重なっています。
2枚は、接着してあったり、真ん中をステッチでとめてあったりします。
巾の細い方に接着面があるタイプのももあります。
2枚重なっているため、伸びを止める力が強くなります。
表地に接着する場合は、出来上がり線が、2枚重なった巾の間に入るように
アイロンで接着します。

今回の（パンツの股ぐりに使用する）場合、
1～1.5cm 巾のものが約 40cm必要になります。
伸び止めテープで代用する場合でも同じです。

伸び止めテープで代用する場合は、
伸び止めテープの巾が出来上がり線にかかるように
アイロンで接着します。
（2重にする必要はありません）



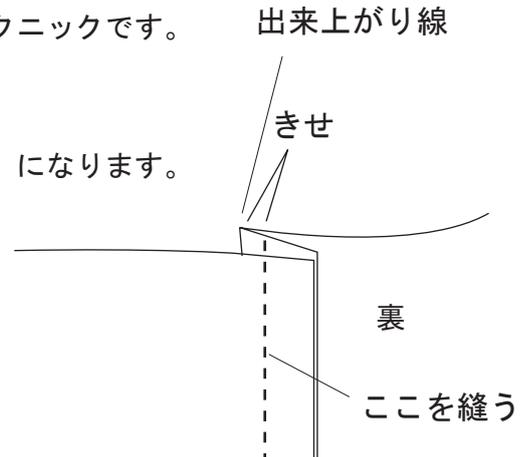
①股下を縫い、きせをかけます

表地のパンツは、ベルト付けを残してあらかじめ縫っておきます。

■裏地の仕立てに欠かせない「被（きせ）」について

表地の伸びに裏地がついていくようにするために施すテクニックです。主に「きせをかける」という言い方をします。出来上がり線より数mm、縫い代側のラインを縫い、出来上がり線どおりにアイロンで折って仕上げます。実際に縫った所から、出来上がり線までの寸法が「きせ」になります。きせ＝「ゆとり」と考えることもできます。

今回のスイートパンツの場合、パターン上での股下の縫い代巾は1.5cmあります。実際は縫い代1cmの所を縫い、アイロンで出来上がり線で折って仕上げます。

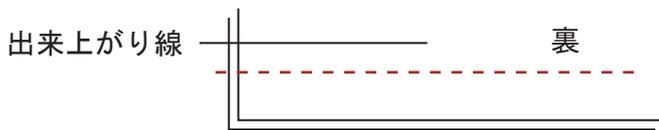


■上手なきせのかけ方

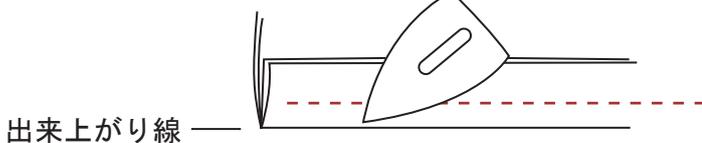
比較的やりやすいと思われる方法です。

それでは縫いに入りましょう。

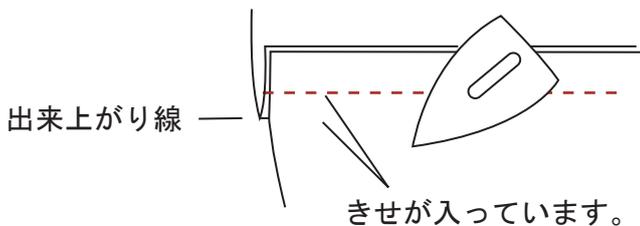
- 1 裏地を中表に合わせて縫う。



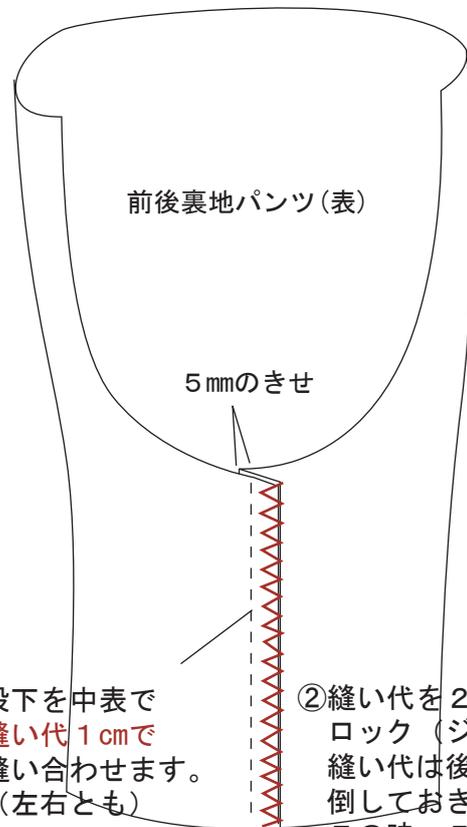
- 2 2枚一緒に出来上がり線で折る。



- 3 1枚を戻し、アイロンで整える。

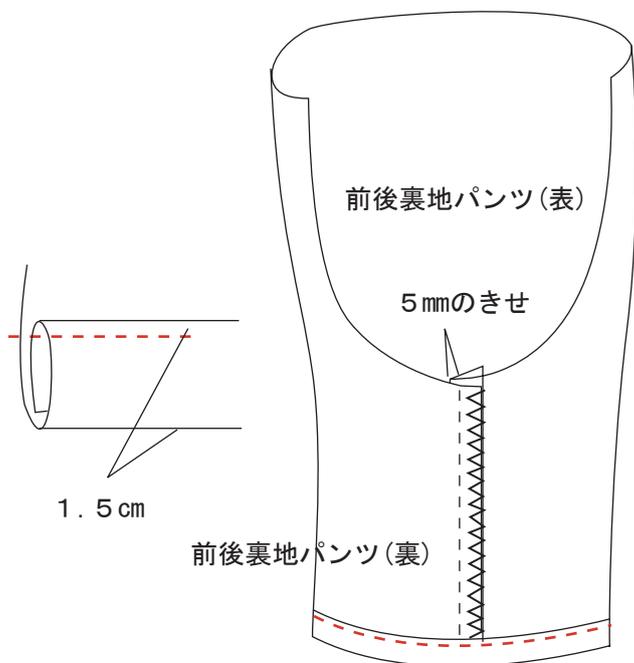


裏地は1枚より2枚重なっていた方が、アイロンがかけやすいので、この方法で比較的きれいに仕上がります。



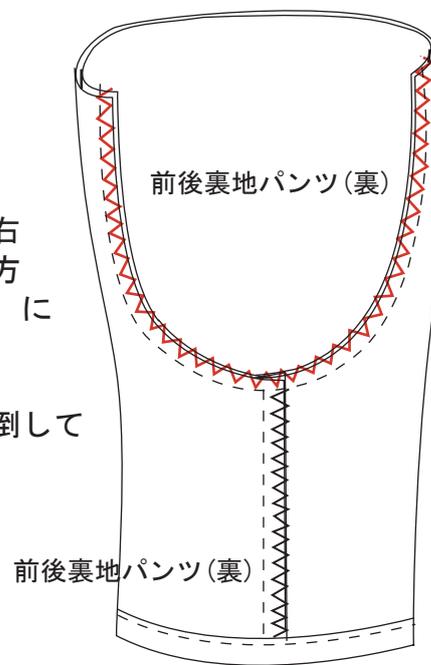
- ①股下を中表で縫い代1cmで縫い合わせます。(左右とも)
- ②縫い代を2枚一緒にロック(ジグザグ)し縫い代は後ろ側に倒しておきます。この時、5mmのきせをかけておきます。

②裾を完全三つ折り始末します。

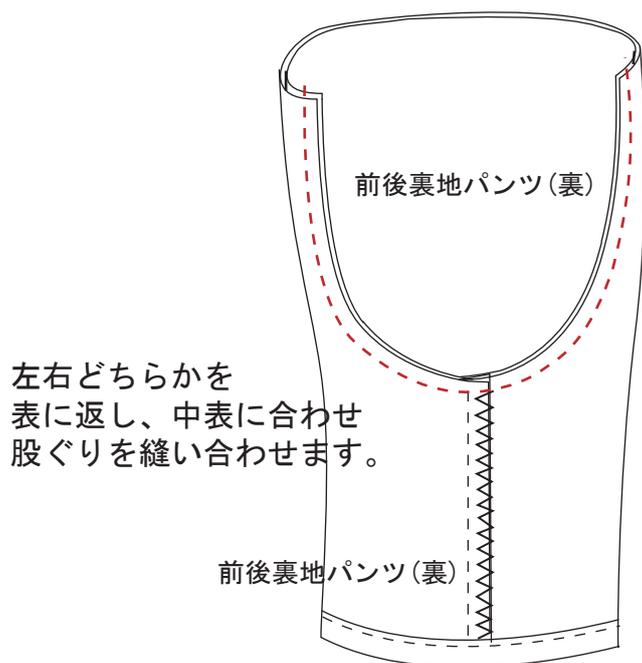


④股ぐりをロック(ジグザグ)します。

縫い代は左右どちらか一方(好きな方)に倒します。仕様書では左身頃側に倒して進めます。



③股ぐりを縫い合わせます。



⑤中とじをします。

■中とじとは…

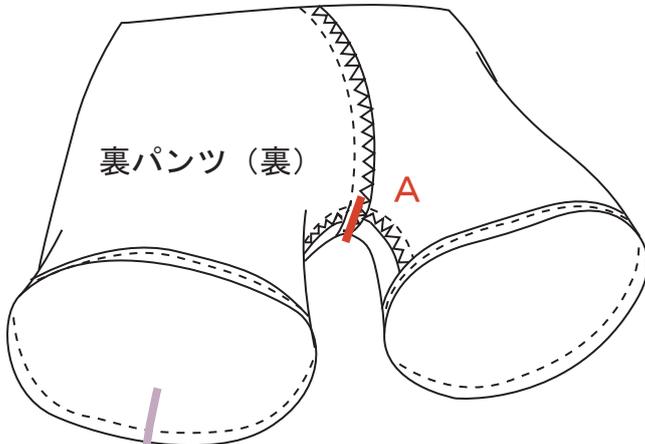
表地と裏地がずれないように縫い代同士を、粗い針目でゆるくとじ合わせることを言います。

裏地が中で泳いで、ゴロゴロするのを防ぎます。

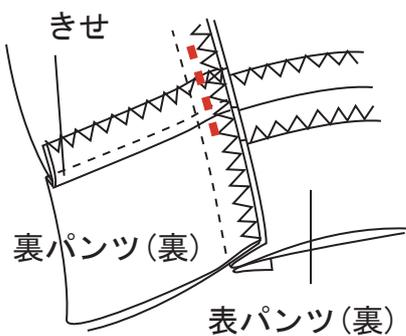
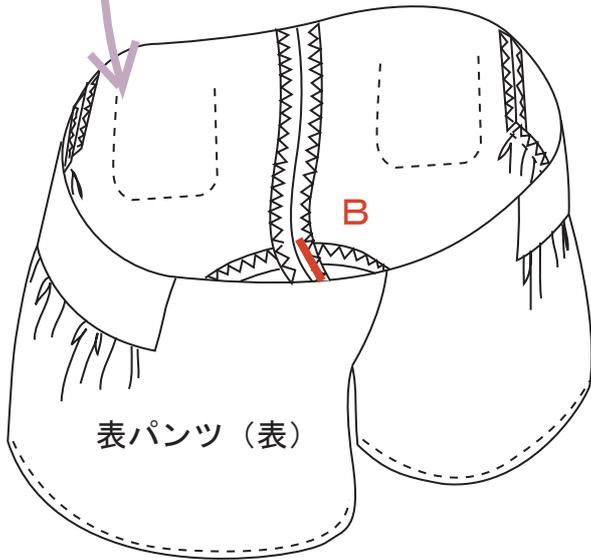
ベルト付けのみを残した状態の表地のパンツと裏地のパンツを、数箇所、とじ合わせていきます。

次のページへ

⑤まず股ぐりの中とじをします。

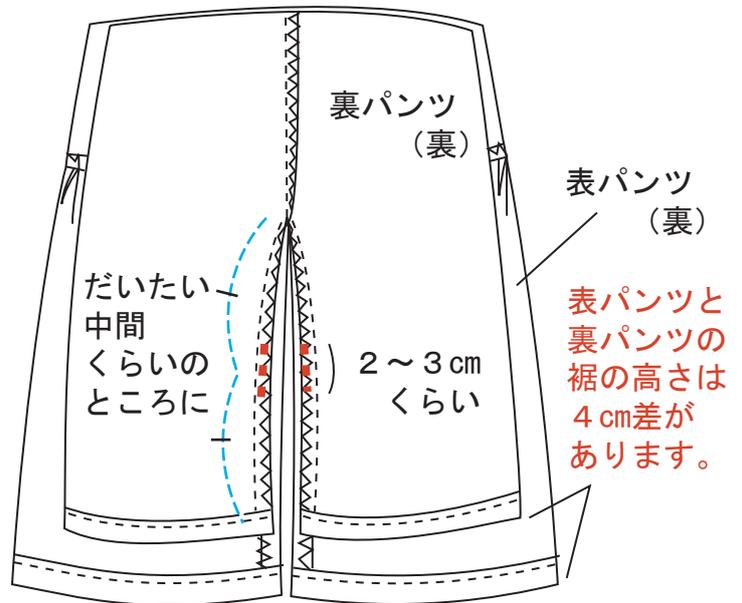


AとBを、縫い代だけ
つまんで合わせて縫います。



裏パンツ表パンツの
縫い代を1枚ずつ
つまんで、股ぐりの
縫い代に3cmくらい
粗く縫います。

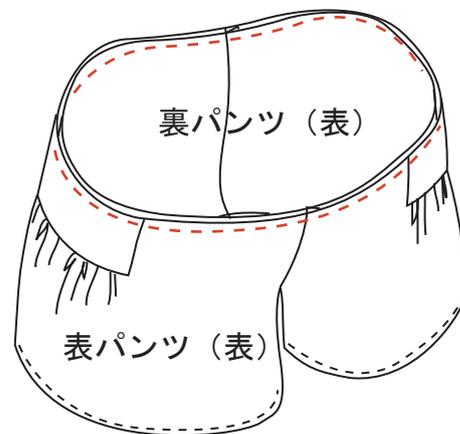
⑥次に股下部分を中とじします。



表パンツ、裏パンツの縫い代を、裾から合わせ
股下の中間くらいを中とじします。裏地は
ゆとり分として距離を多くとってあるので
裾から合わせないと、ずれてしまうので注意。

⑦ウエストを仮止めします。

表パンツと裏パンツを出来上がりに合わせて
ウエストラインを仮止めしておきます。



この後、
ベルトを
つければ完成
です。
スイートパンツ
作り方⑨へ。